

安全データシート (SDS)

作成・改訂日 2015年1月6日

1. 製品及び会社情報

製品名 フタラール消毒液 0.55% (ハチ)
 会社名 健栄製薬株式会社
 住所 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
 担当部門 学術情報部
 電話番号 06(6231)5822
 FAX 番号 06(6204)0750
 連絡先 健栄製薬株式会社 学術情報部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

火薬類	: 分類対象外	自然発火性液体	: 分類できない
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外	自然発火性固体	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外	自己発熱性化学品	: 分類できない
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外	水反応可燃性化学品	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外	酸化性液体	: 分類対象外
引火性液体	: 分類できない	酸化性固体	: 分類対象外
可燃性固体	: 分類対象外	有機過酸化物	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外	金属腐食性物質	: 分類できない

【健康に対する有害性】

急性毒性 (経口)	: 区分外	皮膚感作性	: 区分1
急性毒性 (経皮)	: 区分外	生殖細胞変異原性	: 区分外
急性毒性 (吸入・ガス)	: 分類対象外	発がん性	: 区分外
急性毒性 (吸入・蒸気)	: 区分外	生殖毒性	: 区分外
急性毒性 (吸入・粉塵)	: 分類対象外	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 区分外
急性毒性 (吸入・ミスト)	: 区分外	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: 区分外
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分外	呼吸器感作性	: 区分外
呼吸器感作性	: 区分外	吸引性呼吸器有害性	: 区分外

【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性 : 区分外
 水生環境慢性有害性 : 区分外

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

警告

【危険有害性情報】

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

【注意書き】

【安全対策】

本剤又はフタラール又は他の化学物質に対し過敏症の既往歴のある者は、本剤を取り扱わないこと。
 蛋白結合性があるので、本剤を素手で取り扱わないこと。また、人体に直接接触しないよう注意すること。
 本剤を取り扱う場合には、ゴム手袋、ゴーグル、マスク、ガウン等の保護具を装着すること。
 換気の良い場所で取り扱うこと。

【応急処置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：直ちに大量の水で洗い流すこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

衣服に付着したときには直ちに汚染した衣服を脱ぐこと。

眼に入った場合：直ちに流水で15分以上洗った後、専門医の処置を受けること。コンタクトレンズ装用の場合はコンタクトレンズをはずした後、十分な洗眼を行い、専門医の処置を受けること。また、取り外したレンズは再使用しないこと。

飲み込んだ場合：無理に吐かず、多量の水や牛乳を飲んだ後、専門医の処置を受けること。

暴露した場合：医師に連絡すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : フタラール製剤
 別名 : オルトフタルアルデヒド製剤

成分及び含有量

成分	示性式	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No
フタラール	$C_6H_4(CHO)_2$	0.55%	(3)-1145 公表	643-79-8
リン酸二カリウム	K_2HPO_4	非公開	(1)-452 公表	7758-11-4
リン酸二水素カリウム	KH_2PO_4	非公開	(1)-452 公表	7778-77-0
エチレンジアミンドロキシエチル三酢酸ナトリウム	$C_{10}H_{15}N_2Na_3O_7 \cdot 2H_2O$	非公開	(2)-1268 公表	139-89-9
クエン酸水和物	$C_6H_8O_7 \cdot H_2O$	非公開	(2)-1318 公表	5949-29-1
緑色 201 号	$C_{28}H_{20}N_2Na_2O_8S_2$	非公開	(5)-1741 公表	4403-90-1
pH 調整剤	非公開	非公開	非公開	非公開
安定剤	非公開	非公開	非公開	非公開
精製水	H_2O	非公開	対象外	7732-18-5

分類に寄与する不純物

及び安定化添加物 : データなし

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに大量の水で洗い流すこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
衣服に付着したときには直ちに汚染した衣服を脱ぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗った後、専門医の処置を受けること。コンタクトレンズ装用の場合はコンタクトレンズをはずした後、十分な洗眼を行い、専門医の処置を受けること。また、取り外したレンズは再使用しないこと。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かず、多量の水や牛乳を飲んだ後、専門医の処置を受けること。
- 予想される急性症状及び
遅発性症状 : 吸入：咳、頭痛、息苦しさ、吐き気、喘鳴、咽頭痛、鼻炎。
皮膚：発赤、ざらつき、皮膚熱傷、水疱。
眼：発赤、痛み。
経口摂取：腹痛、吐き気、下痢、嘔吐。
- 最も重要な兆候及び症状 : 皮膚を刺激する。
- 応急措置をする者の保護 : データなし
- 医師に対する特別注意事項 : 情報なし

5. 災害時の措置

- 消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消化剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 水溶性のため、漏洩物を水で希釈して不燃性にするか、又は密閉容器等を冷却するためにも大量の水の噴霧が有効である。
- 消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、防護服（ガスバリア性、耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項
- 保護具及び緊急時措置 : 全ての着火源を取り除く。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項
- 回収・中和 : 環境中に放出してはならない。
不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、密閉できる化学廃棄容器に入れる。
- 封じ込め
及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 注意事項 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
炎や高温のものから遠ざけること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
換気の良い場所でのみ使用すること。
飲み込まないこと。皮膚と接触しないこと。眼に入れないこと。

接触回避などの

安全取扱い注意事項 : 本剤を取り扱う場合には、ゴム手袋、ゴーグル、マスク、ガウン等の保護具を装着すること。

【保管】

- 技術的対策 : 特別に技術的対策は必要としない。
- 混触危険物質 : データなし
- 保管条件 : 遮光した気密容器に入れ、室温で保存すること。
- 容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会（2014年版）未設定
- 設備対策 : 換気のよい場所で取り扱うこと。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : マスク等
 - 手の保護具 : ゴム手袋等
 - 眼の保護具 : ゴーグル等
 - 皮膚及び身体の保護具 : ガウン等
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : 液体、淡青色澄明
- 臭い : わずかにアルデヒド臭
- pH : 7.2~7.6
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 引火点 : データなし
- 爆発範囲 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 比重（密度） : データなし
- 溶解度 : データなし
- オクタール／水分配係数 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし
- 臭いの閾値 : データなし
- 蒸発速度 : データなし
- 燃焼性（個体、ガス） : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 最終包装製品を用いた加速試験 (40°C、75% RH、6 ヶ月) の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : フタラール : LD₅₀=178mg/kg (rat)
 フタラール及び添加物のデータを評価し、加算式より得られた毒性推定値が5000mg/kg以上であるため、区分外とした。

経皮 : データなし

吸入 : 吸入 (ガス)

GHS の定義における液体である。

吸入 (蒸気)

データなし

吸入 (粉じん)

GHS の定義における液体である。

吸入 (ミスト)

フタラール及び添加物のデータを評価し、加算式より得られた毒性推定値が5mg/L以上であるため、区分外とした。

皮膚腐食性・刺激性 : フタラール : 区分2

フタラール及び添加物のデータを評価し、区分外とした。

眼に対する重篤な

損傷・眼刺激性 : フタラール : 区分2 A

フタラール及び添加物のデータをカットオフ値により評価し、区分外とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

フタラール : 区分1

フタラール及び添加物のデータをカットオフ値により評価し、区分1とした。

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器・全身毒性

単回ばく露 : 中枢神経系

フタラール及び添加物のデータをカットオフ値により評価し、区分外とした。

気道刺激性

フタラール及び添加物のデータをカットオフ値により評価し、区分外とした。

特定標的臓器・全身毒性

反復ばく露 : フタラール及び添加物のデータをカットオフ値により評価し、区分外とした。

吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
他の有害影響	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 水で十分に希釈するか、グリシンで不活化したのち、排水規制に従って廃棄すること。廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理することを委託する。
汚染容器・包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 情報なし
海洋汚染物質	: 情報なし
国内規制	: 陸上規制情報: 規制なし
特別の安全対策	: 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	: 劇薬
---------------------------------	------

16. その他の情報

- ① 危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意してください。
- ② この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならぬ事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
- ③ 本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ④ ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。